ベトサダニュース

NPO法人　自立支援事業所ベトサダ
〒065-0012　札幌市東区北12条東10丁目2-3
第5コーポ春1号室
TEL：011-374-7361　/　FAX：011-374-7381
HP：https://www.npo-bethesda.com
MAIL：office@npo-bethesda.com

代表より

私たちの活動が必要なくなる社会

気が付けば朝夕と寒いと感じるようになり今年の夏はそこまでひどい暑さではなかったようなと感じる今日この頃皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。人それですので十分暑かったと感じる方もおられるかもしれません。人間万事塞翁が馬ですね。一喜一憂せずそのままを受け入れることを意識して過ごすことが大事です。個人的に難しいですが・・・さて今回はだいぶ前から心の中にあるモヤモヤしたものをある程度まとめたのでこの場を借りてお伝えしたいなと思います。

私達のような支援団体は、困難を抱える方がいるからこそ必要とされます。生活に困っている方が相談に訪れ、生活を立て直していく。その過程に関われる事は、私達の活動の意義であり、やりがいでもあります。



しかし、私達の活動が必要とされ続けるということは、生活に困窮し、誰かの助けを必要とする人が、社会の中に存在し続けているという事でもあります。

もちろん、支援を必要とする人がいるからといって、支援団体の存在に意味がない訳ではありません。困った時に頼れる場所があることは、社会にとって大切な事です。ただ、支援を続ける事そのものが目的になってしまってはいけないのではないか。そんなことが常に纏わりついてきます。

私達が本当に目指すべきなのは、困っている人を支え続けることだけではなく、そもそも困難に陥った人が孤立せず、生活を立て直すための選択肢があり、安心して暮らせる社会をつくることではないでしょうか。

生活困窮は、本人の努力や能力だけで説明できるものではありません。病気や失業、家族の事情、住まいの問題など、誰にでも起こり得る出来事が、生活を大きく変えてしまう事があります。そうした時、周囲に頼れる人がいるか、必要な制度に繋がれるかによって、その後の生活が大きく左右されることもあります。

だからこそ、困った人を支えるだけでなく、困難を抱えた人が一人で問題を抱え込まなくてもよい地域や社会を創っていく必要があります。

支援に繋がることを特別な事にせず、誰もが必要な時に助けを求められる。そして、一度困難に直面したとしても、何度でも生活を立て直せる。そんな社会が必要なのだろうと思います。

私達の活動が明日すぐに必要なくなる事はないでしょう。解決すべき課題は、まだ数多く残されています。それでも、いつか私達のような団体が今ほど必要とされない社会になること。それは、私達にとって寂しい事ではなく、むしろ目指すべき一つの到達点なのだろうと。

これまでの私の約十年、活動を支えてくださった皆さまとともに歩んできたことに、心から感謝しています。前と比べて大きくはないですが様々な団体と連携して民・官の話し合いの場を設けたり話し合いだけではなく実際の連携も取れてきてはいますがまだまだ課題は多くあります。当然支援者側だけがあれもこれもと用意していくだけではなく困窮者自身の努力も必要でしょう。そのバランスのとり方は常に悩まされる種でもあり難しい部分でもあります。支援をしているだけではない部分も皆様にお伝えできればと思い今回こうした内容にしました。

特別何か方針を変えるということはありませんが日々の取り組みは今後も必要ですので続けますがそれとは別の取り組みについてもできればと考えておりますので引き続きご支援いただければ幸いです。

【菅原　勇也】

スタッフより

夏が過ぎ思うこと

今年も酷暑だった夏も終わり、あっと言う間に秋の気配が感じられる今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。あと1ヵ月も経てば冬が来ると思うと正直、気が重いのは私だけでしょうか。

道内では紅葉の季節になり各地の山々では初冠雪も近いとのニュースも聞こえてくるなか、それらの山の中にはごく近い将来、大規模噴火が起こる確率が高まっているようです。報道では十勝岳がその筆頭であり最近では駒ケ岳もその兆候が起こり始めているようです。十勝岳は1926年の噴火で山肌の雪や土を巻き込んで泥流が発生し麓の町が被害に遇い1000名を超える住民が亡くなりました。1962年は噴火によって飛ばされた噴石で5名の方が亡くなっています。駒ケ岳は1640年に噴火した際には山体が崩壊【この時に現在の特徴的な駒ケ岳の姿になったと言われる】し崩れた土砂が内浦湾へ流れ込み押された海水が津波になり沿岸部の集落では700名を超える方が亡くなりました。1929年の噴火は噴煙が最大12000メートルにもなり2名の方が犠牲になる被害をもたらしました。こうした火山の噴火で災害になる事象は北海道では有珠山が記憶に新しいですが、歴史を調べると改めて北海道は自然が作った火山帯を縫うようにして人間の生活があるかという事を教えてくれます。過去10年前くらいから地球規模で各種の自然災害を見聞きする事が増えた気がしますが、日本も各地で地震が頻発し大震災になっている現在、いろいろな備えや心構えが必要と思います。とは言ってもこればかりは地球がする事だから起こったらなるようにしかならないとも思いますけどね。

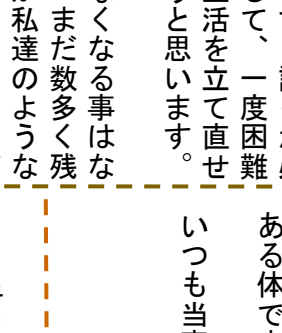
熊本では2回目の大きな地震に遇い能登では未だに日常生活が戻っていない事を想うと本当に言葉もありません。日本には起こった事象に対しものすごく当てはまる言葉がいくつかありますが、その中で「災害は、忘れた頃にやってくる」の言葉はいつ起こるかわからない事に「日々備えよ」と教えてくれているのかもしれません。

冬季に道内で災害が起きれば大災害になるのは避けられない事と思います。個人や家庭などで備えられる事を実践しておきたいですね。

季節の変わり目は何かと体調を崩しやすいと言われますが、インフルエンザも流行しているので北海道の秋の味覚を食べて抵抗力のある体で来る冬に備えましょう。

いつも当事業所に対するご理解・ご協力誠にありがとうございます。

【二瓶】



日足もすっかり短くなり朝晩は冷え込み落ち葉が風に舞う季節となりましたが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。これから暖房機器を使用する事が多くなりますが、灯油価格の高騰により家計を圧迫する事になりそうであります。灯油の使用量を減らす為にコタツや電気ストーブを使っても、電気料金も値上げで結局節約とはならず北海道の様な雪国では厳しい生活状況となりそうですね。一部の富裕層を除いては物価高によって普通に生活する事が難しく、一般労働者でも厳しい状況の中で特に年金収入しか無い高齢者の方は食事を減らしたり、入浴回数を減らしたりして生活している方が多いのではないでしょうか。この先景気が良くなって国民の生活が豊かになっていく事は多言にないと感じる今日この頃であります。

さて話題は昨今のニュースの中で多くなって来ました、サイバー攻撃による企業からの個人情報の流出が問題となっていますが、これらの個人情報が犯罪組織の間で高値で取引され、よって益々匿名流動型詐欺が多くなり被害が増加する事が予想されます。皆様も詐欺の被害に遭われる事のない様に金銭の話しが出たら迂闊に話しに乗らないよう気をつけて頂きたいと思います。

最後になりますが当施設ベトサダでの支援活動の話しに移りたいと思います。前号でも就労による自立を目指す利用者が増えて来ましたとお伝えしましたが、今号でも生活保護希望者を就労自立希望者が上回った状況であります。利用申し込み時の聴き取りで最も多いのは、家賃滞納により賃貸契約を解除、裁判所立会により強制執行となり住居喪失、生活の場や行き場が無くなりネットカフェやサウナを利用して、最終的には公園などで野宿し所持金も無くなり制度利用の相談、ベトサダ入所との流れであります。またネットカフェを利用しながら就労していますが、思っていたよりネットカフェ利用料が嵩み手持ち資金が増えずこの先の生活が不透明である事が不安であるとの考えのもと資金を貯めて再び住居契約し不安を解消したいとの相談が多数でありました。何人かは行き先不明での退所でしたが再び住居を構える事が出来た利用者には二度目は無いからと送り出しましたが、この不景気の世の中では再利用する方も多くなっていくのではないかと思っています。暗い世の中ではありますが、これからも変わらず支援していきたいと思いますのでよろしくお願いします。

【吉田】

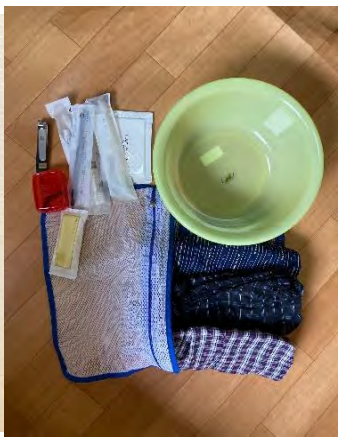
自立支援事業所　ベトサダニュース

令和8年10月26日(月)発行









心よりお礼
申し上げます









市内のみならず、遠くの町からも、たくさんのご支援が届きました。全部を掲載しきれず申し訳ありません　在庫状況や保管場所等の関係で、お受け出来ない時がございますが、お心に深く感謝いたします。













事務局より

朝夕寒くなってきましたが皆様いかがお過ごしですか？

１０月に入りベトサダでもストーブが稼働する時間帯が出来ました。１０月中旬ですが雪虫が飛んでいるのを見ました。今年ﾖﾘ手稲山・峠で積雪はないです。もう手稲山・峠は初冠雪しましたはどうなるのでしょうか。あまりドカ雪が無ければよいのですが。

上半期も終了し、９月末日での一時生活支援事業の利用者数は４２名です。前年度より今年度に継続した人数は６名で、この４月からの総支援者数は４８名になります。上半期の実績は、就労継続で自立した人は２４名・生活保護受給者１３名・不明５名・現在利用中６名になります。

増々寒くなって来ます、インフルエンザも流行って来ていますので皆様体調に十分気を付けてください。今後もご支援ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

【藤原】

【会費納入者さま・寄附者さま】順不同

8月1日～8月末日

阿部様／五十嵐様／一般社団法人アクセプト佐々木様／岡様／株式会社アーラリンク様／株式会社リトライ越智様／菊池様／協同組合アジアンネットワーク安達様／秀欧会福祉サービス株式会社対馬様／高橋敏子税理士事務所様
匿名希望様１２名

9月1日～9月末日

すばる法律事務所池田様／一般社団法人アクセプト佐々木様／　株式会社アーラリンク様／株式会社スタート佐々木様／協同組合アジアンネットワーク安達様／秀欧会福祉サービス対馬様／中野様／西谷様
匿名希望様１３名

更に、8月は6名、9月も7名の方々よりご寄贈を頂きました。心よりお礼申し上げます。

ご寄附の際に、掲載「可」又は「匿名希望」のいずれかを〇で囲んで頂けると助かります。尚、記載の無い方は匿名とさせて頂いておりますが、掲載可の方はお手数ですがご連絡下さい。以前いずれかの選択をされた方は、登録済みですので記入無でも大丈夫です。

みなさまの　ご寄附は自立を目指す方々の生きる希望となります

◆　ご寄附　ご送金先　◆

【 ゆうちょ銀行 】
口座番号　02720-1-45798
口座名義　特定非営利活動法人
自立支援事業所　ベトサダ

【カード決済】
◆ホームページ→寄附・募金の受付→
寄附・募金サイト→寄附をする→カード決済

みなさまから託していただいたご寄附は、自立を目指す方々を支援するため、ベトサダの活動・運営のために使わせて頂きます